

令和元年度「3学年保護者対象進路説明会」

6月22日（土曜日）9時半より「3学年保護者進路説明会」を行いました。
210名という多数の保護者の方々のご出席をいただき、蒸し暑いなかではありましたが熱心に聴いていただきました。

1. 学校長挨拶
 2. 昨年度の入試状況について
 3. 令和2年度入試の展望・「大学入学共通テスト」について
 4. 学費, 奨学金
 5. 現3年生の学習状況と進路志望について
 6. 卒業生の話（3名）
 7. 学年主任挨拶
- * 2・3：進路指導部長 緒方より 4：進路奨学金担当 飯田より
5：進路3学年担当 藤本より 7：3学年主任 松川より



進路部長：来年度入試から「大学入学共通テスト」となり国語・数学に記述解答問題が導入されるなどの変化があるため今年度受験生も浪人を避ける傾向があるかもしれないが、舟入高校としては従来より記述問題への対策に力を入れているので心配しなくてよい。また上位層が安全圏内へ流出して受験する可能性があるため、志望を貫くことが有利になりうる。

奨学金：親任せにしない・不明な点は早めに相談。

給付型の奨学金も大学進学後に申請することが可能になった。

学年：受験生として週40時間の学習が目安。やるべきことをやろうとするとこのくらいの時間が必要。後期試験を実施する大学は減少傾向にあるが、後期からの合格の可能性は十分にあるので最後まで諦めずに受験してほしい。受験科目を絞ってしまうとちょっとした全体の変動に左右されやすい。最後まですべての科目を勉強して受験する方が良い結果になる生徒が多い。「合格体験記」から、生徒はこちらが思う以上に周りのサポートに支え



られてがんばっていることが分かる。不安な時期に家族からのエールに支えられたことに感謝しているという言葉が多い。

卒業生1：受験期の親のあり方についてのお願い。

①模試の結果については悪くでもしからなくて欲しい。受験生本人もよく分かっているので言われるといらつく。ただそっとサポートをしてくれると嬉しい。模試のあった日の夕食が自分の好物だったことがとても嬉しかった。②将来やりたいことについて親子で話をする場を設けて欲しい。



卒業生2：自分の親は受験に関してあまり干渉してこなかったの
で、気負うことなく受験勉強に専念できてよかった。ただ、全て
自分の責任で考えて自分と向き合って行動しなければいけなかつ
た点はすこししんどかった。二次試験受験日1日目で失敗してしま
い、2日目を放棄しようかと思ったときに母親が気楽に受ける
だけ受けてみては、と言ってくれたのが気持ちを楽にしてくれて
受験し合格できた。

卒業生3：受験勉強へのアドバイス①志望は自分で納得して覚悟できた大学に。心から行きたいと思う大学を見つけること。②やる気がおきない時でもとにかく机について勉強し始める。意外とできる。③学習の障害物は排除する。自分はパソコンに親がパスワードを設定してくれたので使用を制限できて勉強に集中できるようになった。④睡眠時間を確保することがよかった。⑤志望校を分析してしっかり戦略をたてた。

親は、自分の受験のやり方を尊重してくれたこと、受験中一番の楽しみだった食事を自分の生活リズムに合わせてくれたことに感謝している。



3学年主任：生徒達は県総体、文化祭とよくがんばった。これから気持ちを切り替えて受験勉強に取り掛かる時となった。生徒達を信じて、励ましてともに進路実現を目指していきたい。

<保護者の方々の感想>

- *卒業生の合格体験談がとても心に響いて泣いた。聞けて本当によかった。
- *難しい年頃の息子と会話がなかなかできず考えていることが分からなかったので、生の声を聞けてとても参考になった。
- *子どもなりに頑張っているので親はあれこれ言わずサポートしていこうと思った。
- *子どもを信じることの大切さを改めて感じた。
- *自分の子どもとももう一度向き合おうと考えるいい機会になった。
- *勉強のやり方、取り組み方法をもっと具体的に提示して欲しい。

